

初めてのかじかとりに 子どもたちも大喜び!

かじかとりまつり



毎年恒例となった「かじかとりまつり」が大石川を会場に行われ、村内外から約300人の親子連れなどが参加しました。主催は新潟総合テレビ(NST)と村観光協会。

イベントでは、かじかとり初体験の参加者も多く、水鏡とタモを手には、慣れない手つきでかじかとり挑戦。水鏡を覗き込む子どもたちから「いたー」「逃げられたー」といった声が聞かれました。

当日は、かじかとり以外にも、鮎とイワナのつかみどり

や宝探しなどのゲームもあり、参加した子どもたちも大喜び。また、昼食には村温泉旅館組合(小山雄司組合長)が準備したカレーライスが振る舞われました。

新潟市から家族7人で参加した川崎隆雄さんは「かじかとりは初めてですが、何とか6匹獲ることができました。焼いて食べたら鮎みたいでさっぱりしていておいしかったです。来年もぜひ来たい」と喜んでいました。

村誕生60年を振り返る

そして新たな村づくりへ

村発足60周年記念式典

もん蛇まつりの創造は村に活性化をもたらしました。人口減少など大きな課題もあるが、村民みんなで作り上げたこの

村を後世の人たちのために残していく努力を続けていきたい」とあいさつ。その後、昭和38年の大豪雪や羽越大水害の街並み、大したもん蛇まつりの歴史など60年のあゆみを当時の写真で振り返りました。

式典終了後には、自治功勞者表彰式が行われ、17人1団体の皆さんに表彰状と記念品が贈呈されました。



8月1日、村民会館大ホールを会場に、村発足60周年記念式典が開催され、歴代四役や歴代村議会議長、国県関係者、各集落区長など約150人が出席しました。

式典では、平田大六村長が「1954年8月1日に誕生した関川村は、これまで新潟地震や羽越大水害など幾多の困難を乗り越え、また、1988年にスタートした大した

国際ボランティア学生協会I-VUSAと

地域連携協定を締結

式典では、国際ボランティア学生協会との地域連携協定調印式も行われました。

たいと思ひ、協定を締結しました。今後もこれまで以上の関係を築いていきたい」とあいさつがありました。

これは、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展を目的に、地域活性化や防災、観光振興などを主に協定を結んだもの。

国際ボランティア学生協会の下村誠代表から「村には、この10年で1000人以上の学生が訪れています。ふるさとを持たない学生が多い中、心温まるおもてなしを受け、自分のふるさとと思っっている学生も多い。若者の奇想天外なアイデアをこの村に提案し





高齢者施設で盆踊りを 鮎谷青年団がボランティア

夏の風物詩「盆踊り」を楽しんでもらおうと、鮎谷青年団（前田新吾団長）が、8月8日、高齢者生活福祉センターゆうあいにて盆踊りのボランティアを行いました。これは、ゆうあいの夏祭りに合わせて行われたもので、鮎谷青年団から約10人がボランティアとして参加。まつりが始まると、同青年団のお囃子に合わせ、ゆうあい利用者や仮装した職員などが盆踊りを楽しみました。

ボランティアを務めた加藤裕一さんは「鮎谷青年団は活動的なので、楽しくさせてもらっている。みんな喜んでくれて良かったと思います」と話し、ゆうあい利用者の横山好さん（上新保）は「昔を思い出して一緒に踊りました。とても楽しかった」と喜んでいました。

鮎谷青年団では、4年前から村内の高齢者施設でボランティア活動を行っています。

年内稼働へ向け安全祈願祭 メガソーラー建設着工

現在、建設工事が進んでいる大規模太陽光発電所（メガソーラー）の安全祈願祭が7月23日、建設予定地3か所などで行われ、事業主体の三峰川電力株式会社（東京都）や村の関係者など約40人が出席しました。

本事業は、土沢地内の美穂農場跡地と小見共有地、旧女川中学校にソーラーパネルを設置し発電事業を行うもので、3地点の合計出力は約2700kW、年間発電量は一般家庭の約700世帯分の年間消費量に相当する約260万kWを見込んでいます。

大規模太陽光発電所は12月の本格稼働に向け工事が進められていて、平田大六村長は「順調に工事が進むよう願っている」と話していました。



▲工事の無事を願う参列者たち（旧女川中学校で行われた安全祈願祭）

村の魅力を全国に周知し、イメージアップや活性化を図ることを目的にこのたび設置された関川村ふるさと大使に、さいたま竜神まつり会の平田利雄さんと葩島一策さんが委嘱され、8月1日、平田大六村長から委嘱状が手渡されました。

品販売ブースの出店に協力するなど、村とさいたま市との交流に尽力されてきました。また、2013年10月には関川村を会場に全国のまつり団体が一堂に会したイベント「The MATSURIサミット」を開催。村の活性化にも大きく貢献されてきました。

平田利雄さんは「ふるさと大使として、これからも今まで以上に関川村とのつながりを大切にしながら、村の発展のために広く広報できるように努めさせていただきます」と話していました。

さいたま竜神まつり会 平田利雄さん 葩島一策さん 関川村ふるさと大使に



▲関川村ふるさと大使に委嘱された葩島一策さん（写真左）と平田利雄さん（写真右）